

<地方創生に係る実施状況>

「福岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「戦略」という。）は、総合計画を基本に、地方創生の観点から施策等を整理、再構築したものであり、実施状況は「福岡市基本計画に係る実施状況の報告」のとおりである。下表は、5～8ページの成果指標を戦略に沿って整理し、再掲するものである。

基本目標Ⅰ しごと・雇用機会を創出し、活力につながる人の流れをつくる

施策	成果指標	初期値 (戦略策定時)	最新値	目標値
全 般	就業機会の多さに対する満足度(施策6-5より)	48.2% (2018年度)	50.3%	50%
	入込観光客数 (施策5-1より)	2,134万人 (2017年)	2,309万人	2,300万人
(ア)福岡市グローバル創業・雇用創出特区の推進と新たな価値の創造	新設事業所数 (施策7-1より)	1,114事業所/年 (2016年)	1,972事業所/年	1,200事業所/年
	クリエイティブ関連産業事業所数 (施策7-3より)	2,504事業所 (2016年)	3,058事業所	2,900事業所
(イ)地域経済を支えている産業の競争力強化	市内大学の民間企業などとの共同研究件数 (施策6-1より)	887件 (2017年度)	1,094件	1,050件
	博多港・福岡空港における貿易額(施策8-3より)	4兆6,795億円 (2018年)	7兆3,354億円	5.5兆円
(ウ)新たな雇用につながる企業等の誘致	成長分野・本社機能の進出企業数 (施策6-2より)	57社/年 うち外国企業等14社/年 (2018年度)	55社/年 うち外国企業等10社/年	55社/年 うち外国企業等17社/年
	進出した企業による雇用者数(施策6-2より)	1,334人/年 (2018年度)	455人/年	3,000人/年
	在住外国人の住みやすさ評価(施策8-8より)	61.4% (2018年度)	63.4%	67%
(エ)観光・MICE 振興による交流促進	福岡市への外国人来訪者数(施策5-6より)	309万人 (2018年)	390万人	320万人
	外航クルーズ客船の寄港回数(施策5-6より)	264回 (2018年)	195回	250回
	国際コンベンション開催件数(施策5-4より)	296件 (2017年)	79件	313件
	国内コンベンション誘致件数(施策5-4より)	146件 (2018年度)	140件	160件
(オ)活力につながる人材の還流・定着等	若者率の全国平均との差(施策7-5より)	+3.1ポイント (2015年度)	+3.3ポイント	+5.0ポイント
	外国語で簡単な日常会話ができると思う生徒の割合(施策8-5より)	58.9% (2018年度)	72.1%	80%
	就労目的の在留資格を持つ外国人の数(施策8-5より)	5,500人 (2018年)	10,994人	8,000人
(カ)都市の活力を牽引する拠点やゲートウェイの機能強化	都心部の従業者数(施策8-1より)	36万6千人 (2014年)	39万8千人	40万人
	博多港国際海上コンテナ取扱回数(施策8-4より)	95万TEU (2018年)	88万TEU	130万TEU
	外国航路船舶乗降人員(施策8-4より)	197万人 (2018年)	120万人	210万人
	福岡空港乗降客数(施策8-4より)	2,464万人 (2018年)	2,676万人	2,500万人

基本目標Ⅱ 働き方を見直し、安心して生み育てられる環境をつくる

施策	成果指標	初期値 (戦略策定時)	最新値	目標値
全 般	子育て環境満足度 (施策 1-7 より)	72.0% (2018 年度)	77.6%	75%
(ア)若者・子育て 世 代の経済的安定・経 済的負担軽減	25 歳から 44 歳までの 女性の就業率 (施策 6-5 より)	74.2% (2017 年)	78.9%	75%
(イ)妊娠・出産・子 育て等への切れ目な い支援	地域での支え合いにより、 子育て家庭や高齢者が暮ら しやすいまちだと感じる市 民の割合 (施策 2-3 より)	38.8% (2018 年度)	44.2%	65%
(ウ)子ども・子育て支 援の充実	保育所入所待機児童数(施 策 1-7 より)	40 人 (2018 年度)	0 人	0 人
(エ)仕事と生活の調 和(ワーク・ ライフ・バランス)	企業における女性管理職比 率(施策 7-5 より)	10.0% (2014 年度)	13.3%	15%
	男女の固定的な役割 分担意識の解消度 (施策 1-2 より)	男性 63.4% 女性 75.9% (2018 年度)	男性 72.0% 女性 81.4%	男性 80% 女性 80%

基本目標Ⅲ 超高齢社会に対応した持続可能で質の高い都市をつくる

施策	成果指標	初期値 (戦略策定時)	最新値	目標値
全 般	健康に生活している高齢者 の割合(施策 1-3 より)	50.6% (2016 年度)	49.9%	50%
(ア)生涯元気に活躍 できる社会づくり	スポーツ活動をする市民の 割合(施策 1-5 より)	53.3% (2018 年度)	60.0%	60%
	NPO・ボランティア活動 などへの参加率 (施策 2-4 より)	14.5% (2018 年度)	13.9%	24%
(イ)ユニバーサルデ ザインの理念による まちづくり	ユニバーサルデザインの 取組みへの評価 (施策 1-1 より)	32.4% (2018 年度)	47.9%	65%
	高齢者の居住する住宅のう ち一定のバリアフリー化が 行われた割合 (施策 3-3 より)	37.5% (2013 年)	44.7%	80%
(ウ)すべての人が安 心して暮らせる社会 環境づくり	地域活動への参加率 (施策 2-1 より)	49.7% (2018 年度)	51.0%	70%
	公民館の利用率 (施策 2-2 より)	23.6% (2018 年度)	24.0%	50%
	福祉の充実に対する 満足度(施策 1-6 より)	48.1% (2018 年度)	50.9%	65%
	市の施策によるソーシャ ルビジネス起業者数 (施策 2-5 より)	56 人 (2018 年度)	188 人	130 人
(エ)福岡型のコンパ クトな都市づくりと地 域活性化	公共交通の便さへの 評価(施策 4-5 より)	79.5% (2018 年度)	82.4%	現状維持 (80%程度)
	福岡市の農林水産業を 守り育てていくべきだ と思う市民の割合 (施策 6-4 より)	73.9% (2018 年度)	78.7%	85%

戦略における地方創生の取組みの内、国からの補助金を活用した事業は以下のとおりである。

「エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進」深化・高度化事業 (経済観光文化局新産業振興課)

エンジニア・カフェ・エンジニア・人材育成・国際化・高度化事業					（経済産業省・文化庁・科学技術振興機構）				
目的	国内外の優秀なエンジニアが集まる環境を創出し、エンジニアによって生み出される新サービス等を通じて経済成長や市民生活の向上を図る。				事業期間	R4n-R6n			
					交付対象 事業経費	84,723 千円 (R6n)			
実施内容	■エンジニアカフェにおけるアウトプット創出支援								
	・先端技術やビジネス等の知見に長けたスタッフを配置し、幅広くサービス設計支援や技術支援を実施								
	・エンジニアを目指す学生を対象とした先端技術や新技術に関するイベントを実施								
	■クリエイティブ人材育成								
	・エンジニアを目指す地元学生へ人材育成プログラムを実施								
実施内容	■プロダクト開発促進支援								
	・開発コンテストを実施し、優秀者はアワードで表彰								
	■エンジニアビザの運用開始								
	・外国人エンジニアの早期入国を可能とし、企業におけるプロジェクトの早期着手によるさらなるイノベーションの促進を支援するエンジニアビザ制度の運用を開始するとともに、半導体関連産業のエンジニアにも対象を拡充した (R6.12)								
KPI					R6n 目標	R6n 実績		達成率	
アウトプット創出件数(件)					22	90		391.3%	
IT 人材を確保できている市内IT 企業の割合(%)					50.0	39.1%		78.2%	
エンジニアビザを活用して入国した外国人エンジニア数(人)					40	32		69.5%	
本事業に参画した県外のエンジニアや学生の数(人)					1,640	2,446 人		147.1%	